

(西暦) 2017. 年 2 月 10 日

先天性気管狭窄症の診断のため当院に入院・通院されていた患者 さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力のお願い

研究責任者 所属 小児外科 職名 副院長
氏名 前田 貢作
連絡先電話番号 30004

実務責任者 所属 小児外科 職名 医長
氏名 大片 祐一
連絡先電話番号 38080

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、大片祐一までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦 2003 年 1 月 1 日より 2016 年 3 月 31 日までの間に、当院にて先天性気管狭窄症の診断のため入院し、診療を受けた方

2 研究課題名

先天性気管狭窄症に対するスライド気管形成術後の縫合不全への対応と予後

Management and outcome of anastomotic failure after slidetracheoplasty for congenital tracheal stenosis in children.

3 研究実施機関

兵庫県立こども病院 小児外科

4 本研究の意義、目的、方法

本研究の意義は、当院において診療を受けた先天性気管狭窄症の患児のうち、スライド気管形成術後に縫合不全を来した患児に対する治療方法とその予後を検討することです。気管形成術後の重大な合併症の一つである縫合不全に対する治療方法に関する報告はほとんどありません。我々の経験を検討することで、さらなる治療成績の向上につながると考えられます。

目的：スライド気管形成術後に縫合不全を来した症例を後方視的に検討することでその対応方法を検討し、予後について明らかにすること

方法：診療録をもとに患者背景、縫合不全に対する術式およびその効果について後方視的に検討する。

対象者の選定、症例数は2003年1月から2016年3月までに当院で気管形成を行った本症例のうち、スライド気管形成術後に縫合不全を来した4例。

5 協力をお願いする内容

個人が特定されるような生年月日、I.D.、住所などは使用いたしません。

6 本研究の実施期間

西暦2000年1月1日～2018年12月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、性別・年齢・生年月日と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

兵庫県立こども病院 外科 大片祐一

以上